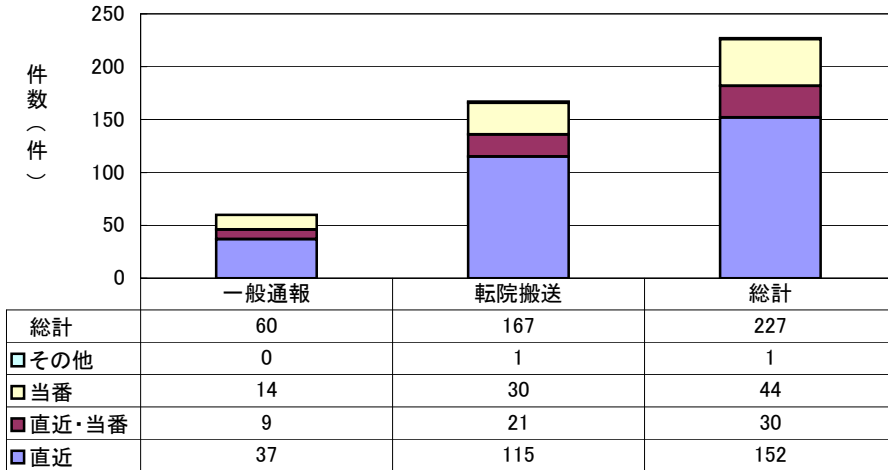


東京都母体救命搬送システムによる搬送事例の状況

平成21年3月25日～平成24年9月30日報告受理分 227件

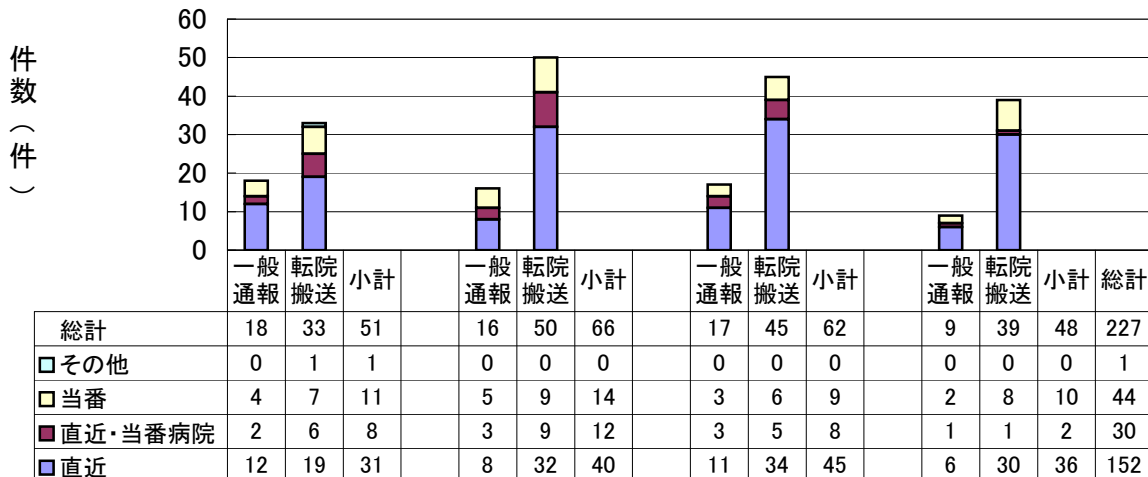
1 搬送の種類



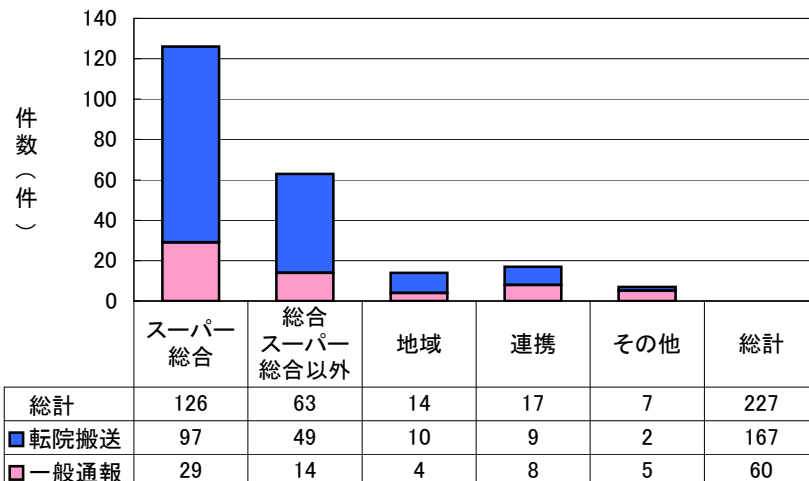
一般通報が60件(26%)、転院搬送が167件(74%)となっている。
一般通報、転院搬送とも4分の3以上が直近かつ当番病院又は直近病院に搬送されている。

※当番病院：第一当番のスーパー総合周産期センター

(年度別)



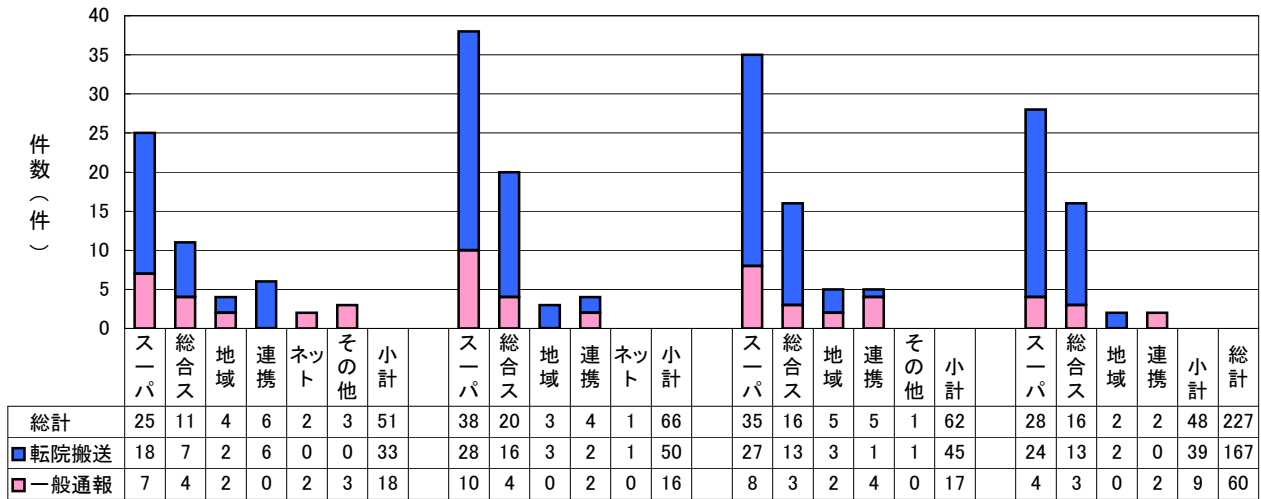
2 病院の種類



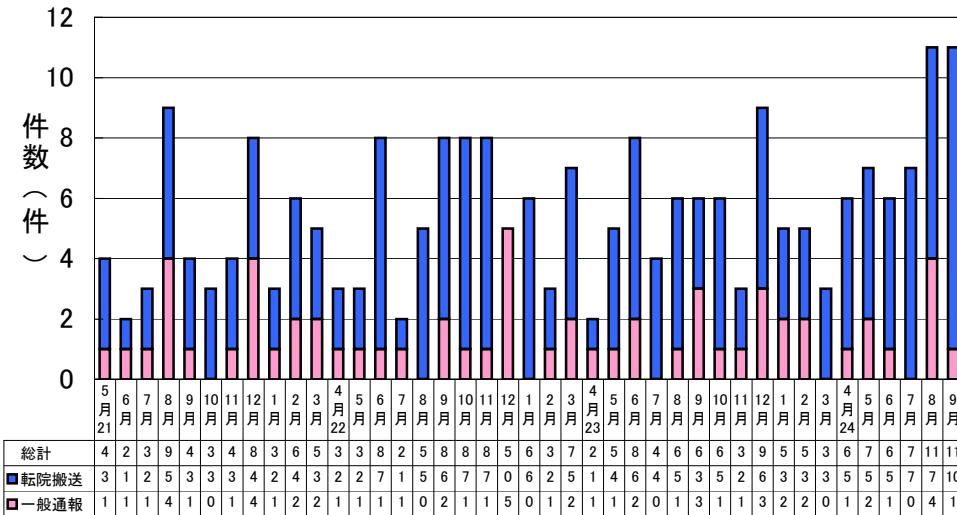
スーパー総合周産期センター4病院には、転院搬送では97件、一般通報では29件、計126件(56%)と全体の半数以上が搬送された。

また、スーパー総合周産期センターを含む総合周産期母子医療センターには189件(83%)が搬送された。

(年度別)

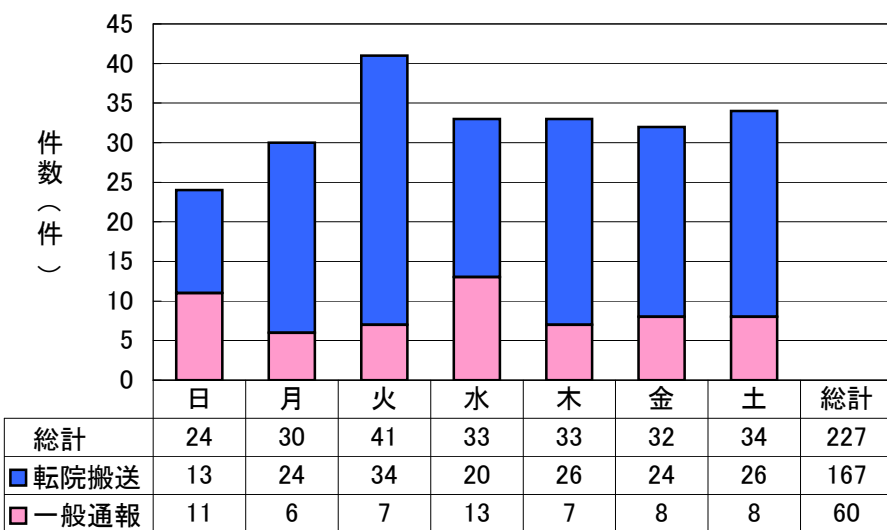


3 月別 (搬送の種類)



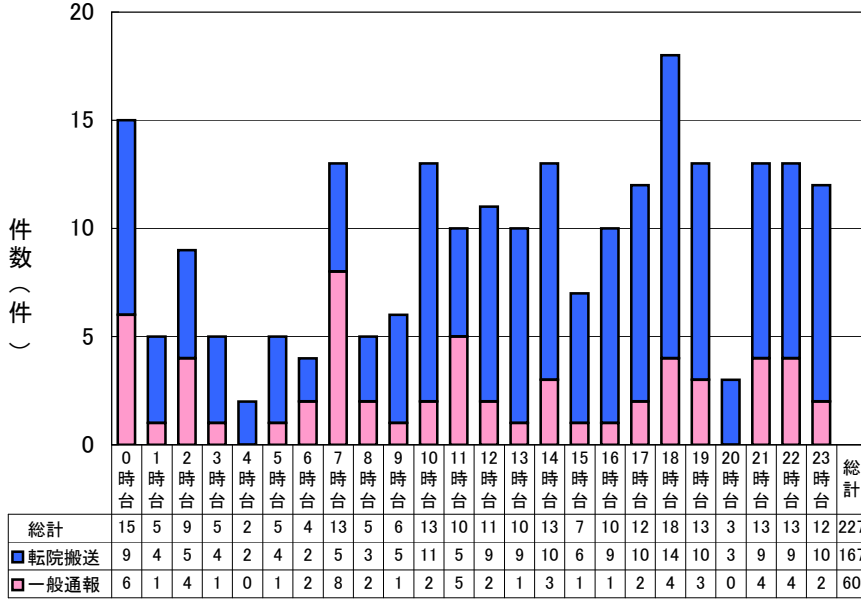
平成21年3月25日から運用したが、21年3月及び4月は事例はなく、5月以降から事例が報告された。
 24年8月及び9月は運用開始以降初めて月10件を超えた。
 どの月も転院搬送のほうが多いが、22年12月は全数が一般通報であった。

4 曜日別 (搬送の種類)



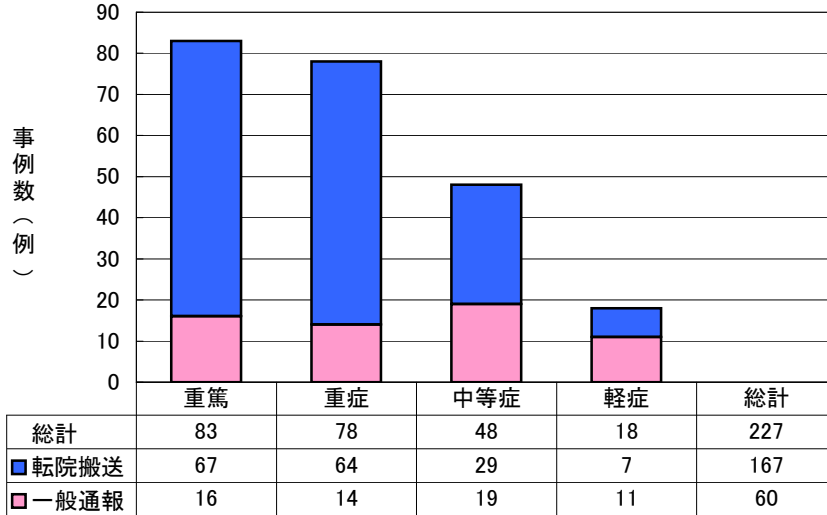
転院搬送は火曜日が多く、一般通報では水曜日と日曜日が多い。

5 時間別



覚知の時間でみると、転院搬送は18時台が多い。
一般通報では、7時台が多い。

6 母の重症度（病院報告）

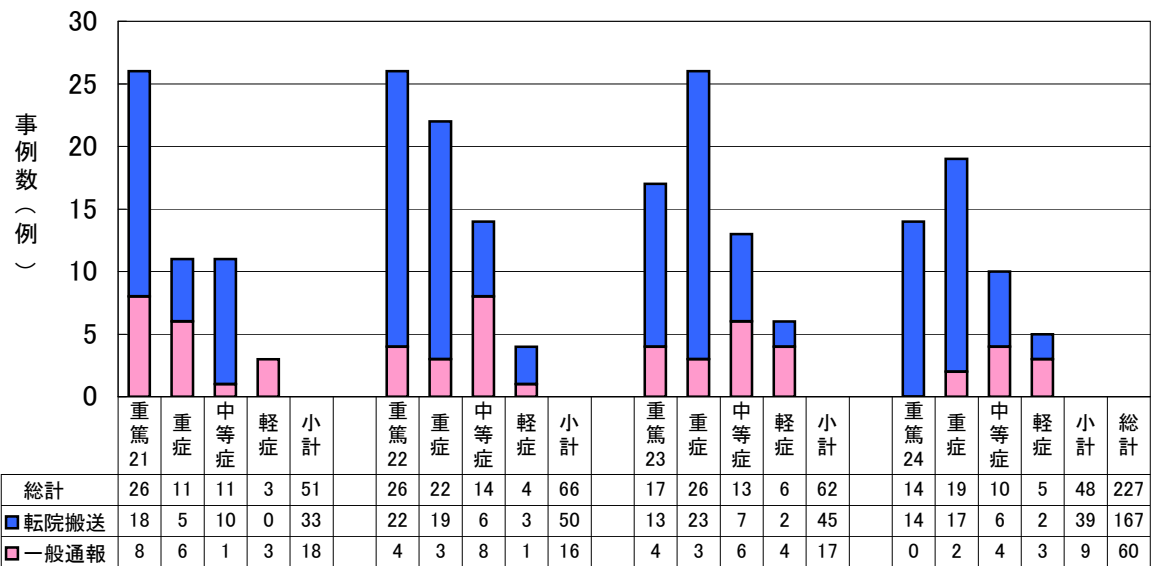


病院で確定診断が出てからの重症度では、重篤が83例(37%)、重症が78例(34%)であり、227例中161例(71%)がスーパー母体救命に相当すると考えられる。

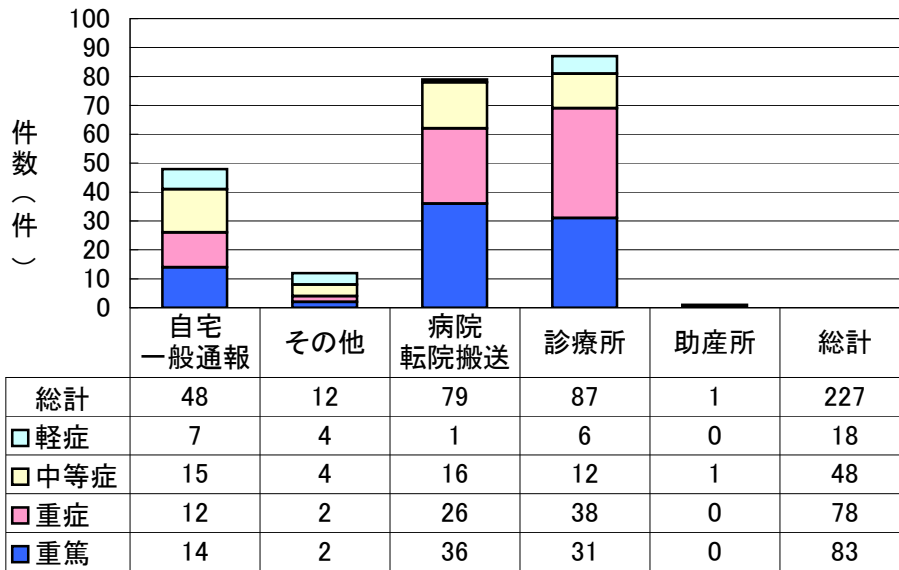
中等症以上では転院搬送の割合が多く、軽症では一般通報の割合が多かった。

年度別では、平成22年度までは重篤が最も多く、平成23年度以降は重症が最も多かったです。

(年度別)

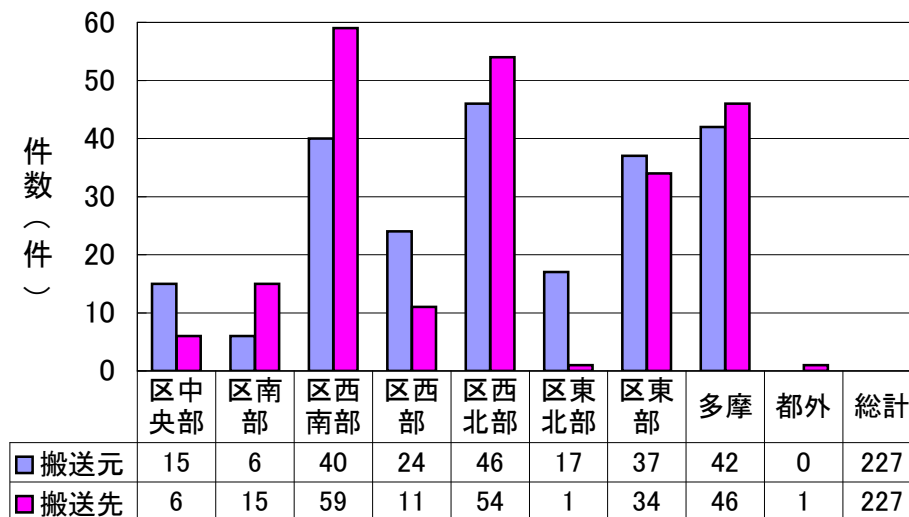


7 搬送元医療機関等



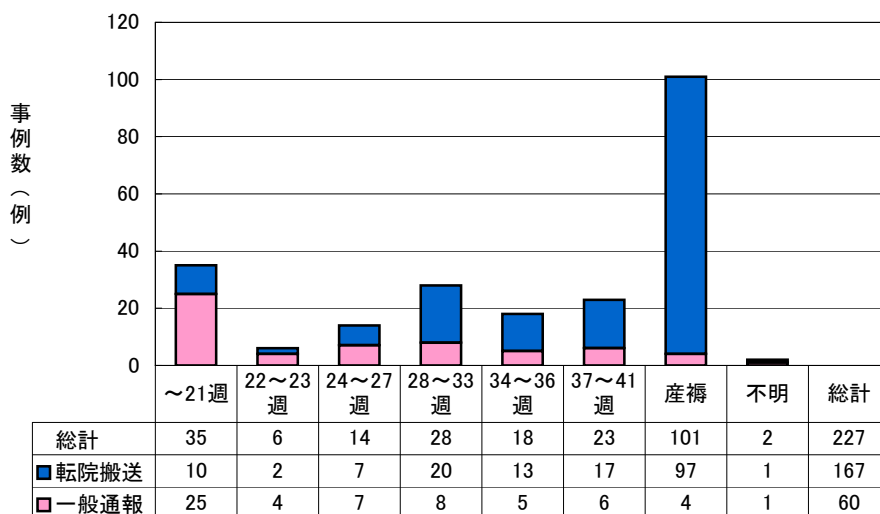
一般通報はほとんどが自宅からの搬送である。
 転院搬送は、病院や診療所からの搬送が多く、助産所からは1件であった。

8 ブロック別搬送元及び搬送先



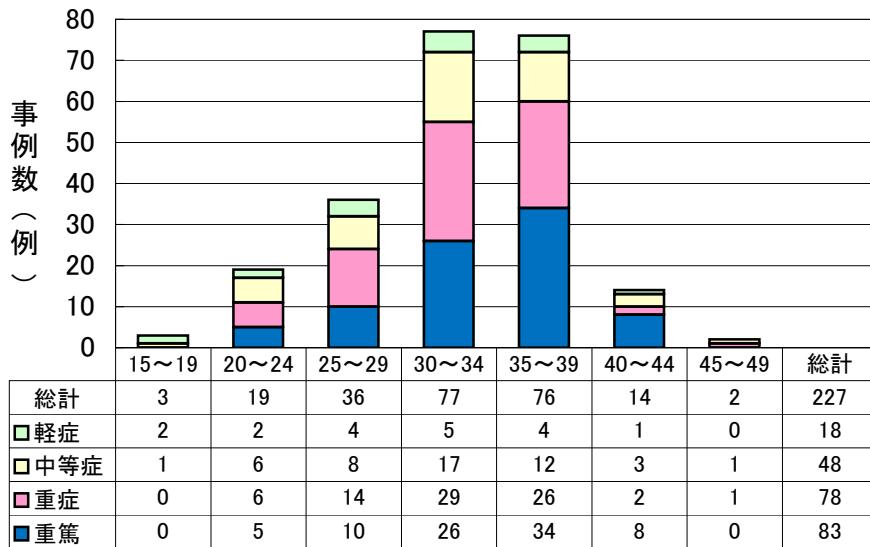
搬送元ブロックは、区西北部、多摩、区西南部、区東部の順が多い。
 受入となる搬送先ブロックでは、区西南部が最も多く、次に区西北部、多摩、区東部の順となっている。多摩では区部からの搬送も受け入れている。

9 週数



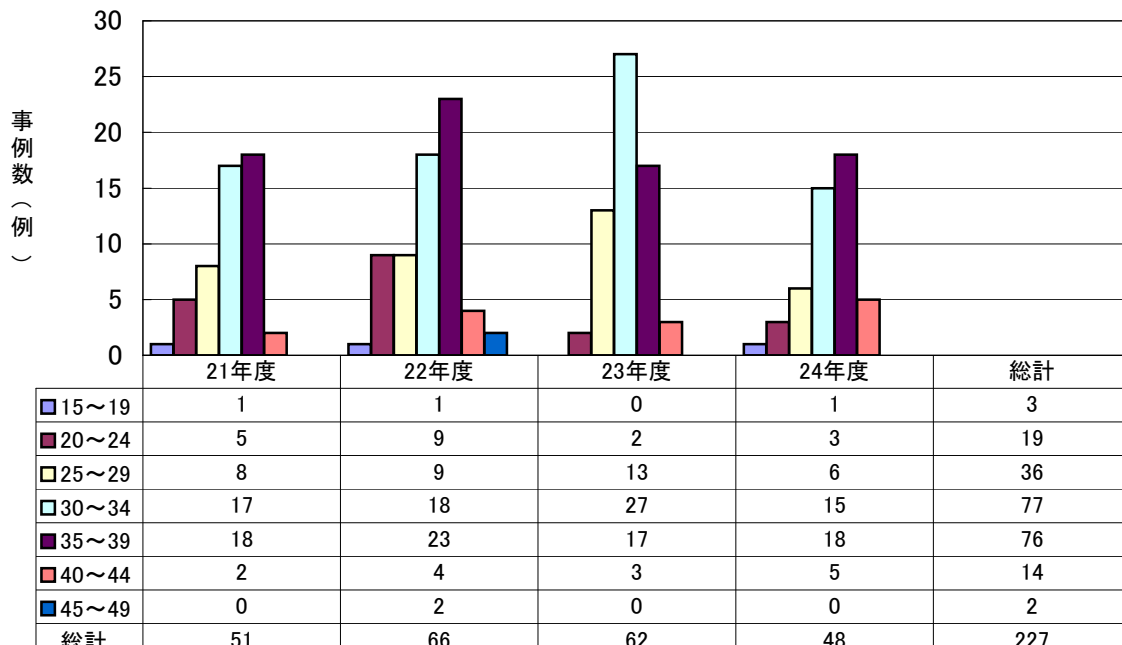
産褥が101例(44%)で最も多く、正期産である37週以上が23例(10%)であった。
 なお、22週未満は子宮外妊娠や流産等であった。

10 母の年齢(母の重症度別)

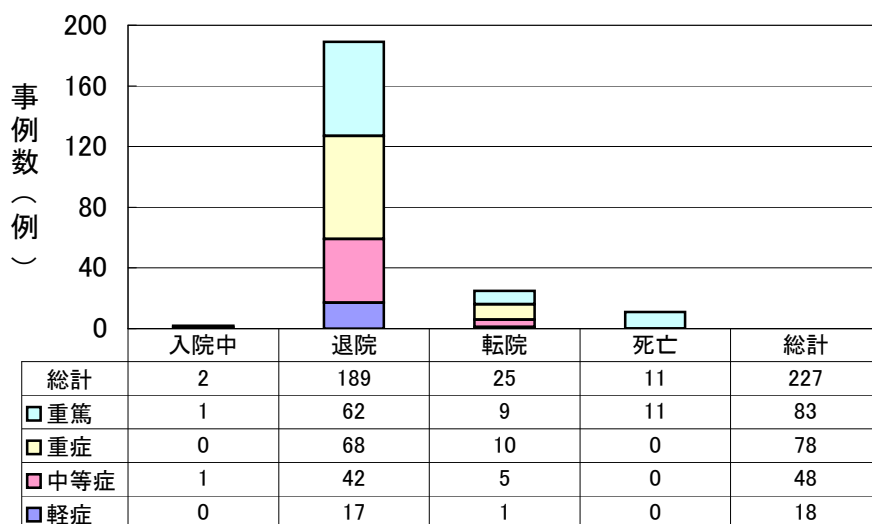


年齢が高いほうが、重篤の事例が多い。
年度別では、平成23年度を除き35歳～39歳の区分の事例が最も多い。

(年度別)

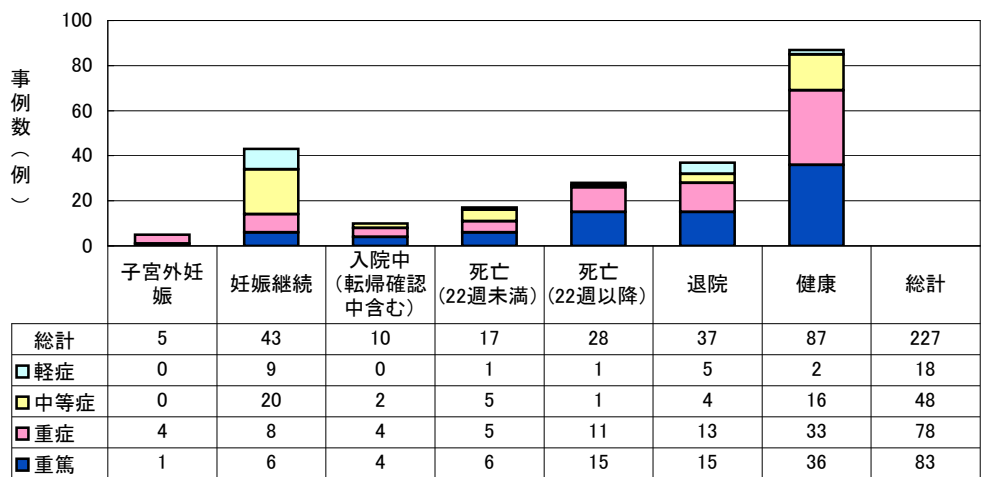


11 母の転帰(母の重症度別)



189例(83%)が退院し、25例(11%)が搬送元等に転院した。
重篤のうち11例(5%)が死亡した。

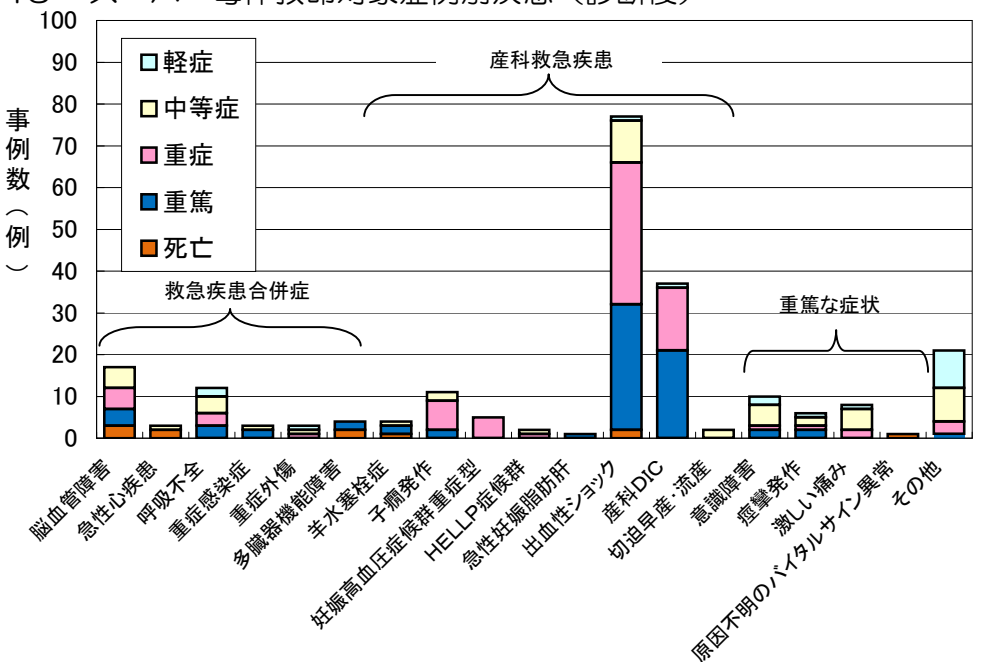
12 児の転帰（母の重症度別）



母が重篤又は重症であっても、児は退院・妊娠継続した事例が多い。

一方で、胎児死亡(22週以降)となった事例が28例(12%)あった。

13 スーパー母体救命対象症例別疾患（診断後）



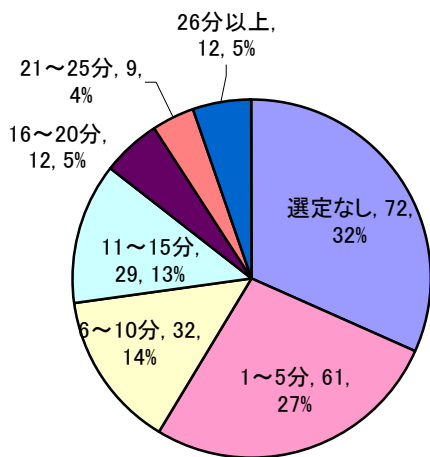
入院後診断された疾患名では、出血性ショック、産科DIC、脳血管障害が多い。

重篤・重症の事例では、脳血管障害、急性心疾患、多臓器機能障害といった、救急疾患合併症と、出血性ショック、産科DICなどの産科救急疾患が多かった。

また、死亡事例は、救急疾患合併症が多い。

14 病院選定時間（平均10.5分、選定なし含まず）

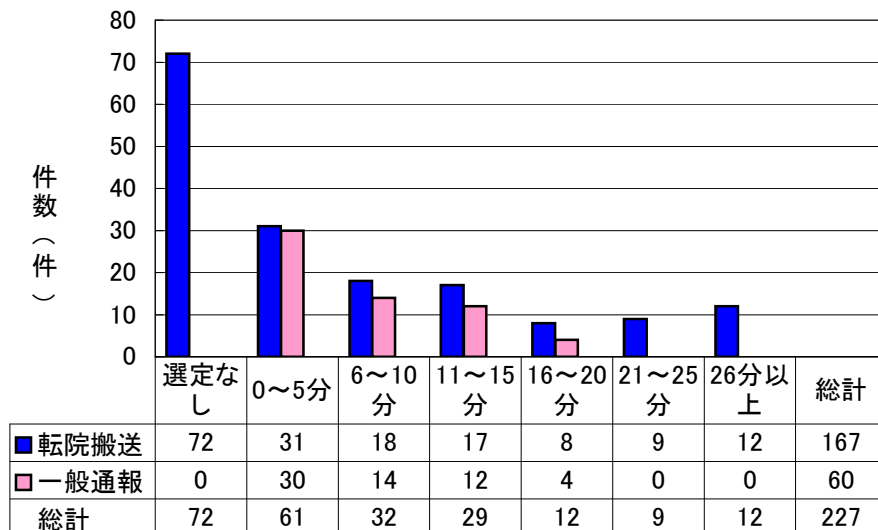
(割合)



病院選定時間の多くは15分以内であった。すでに搬送先が決定していた事例を除くと、選定に要した時間は、平均10.5分であった。

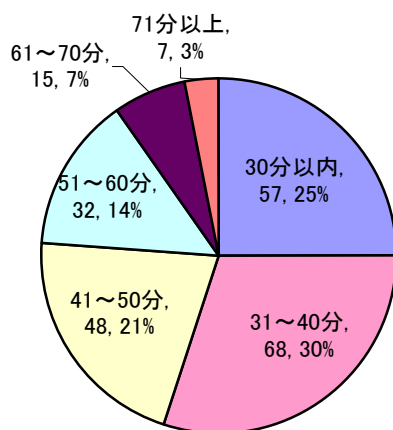
※選定なし：搬送元で既に搬送先を確保済みの場合

(分布)



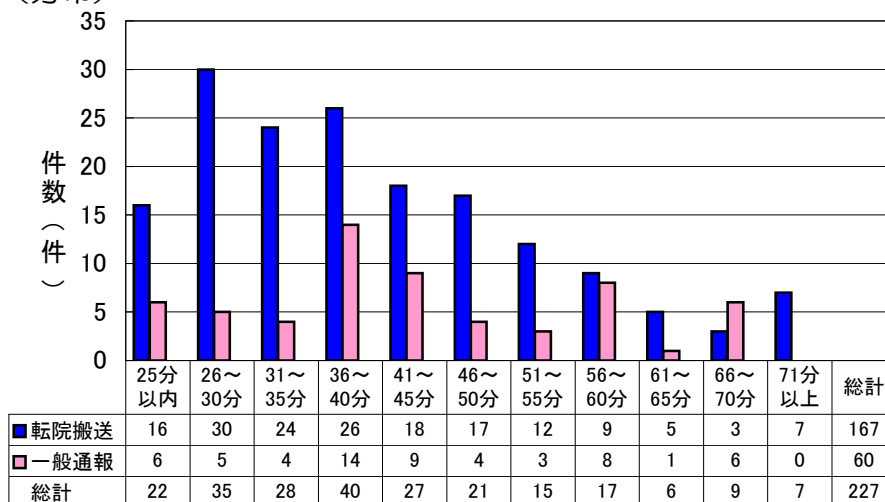
15 入院まで(覚知～病着)の時間 (平均41.4分)

(割合)

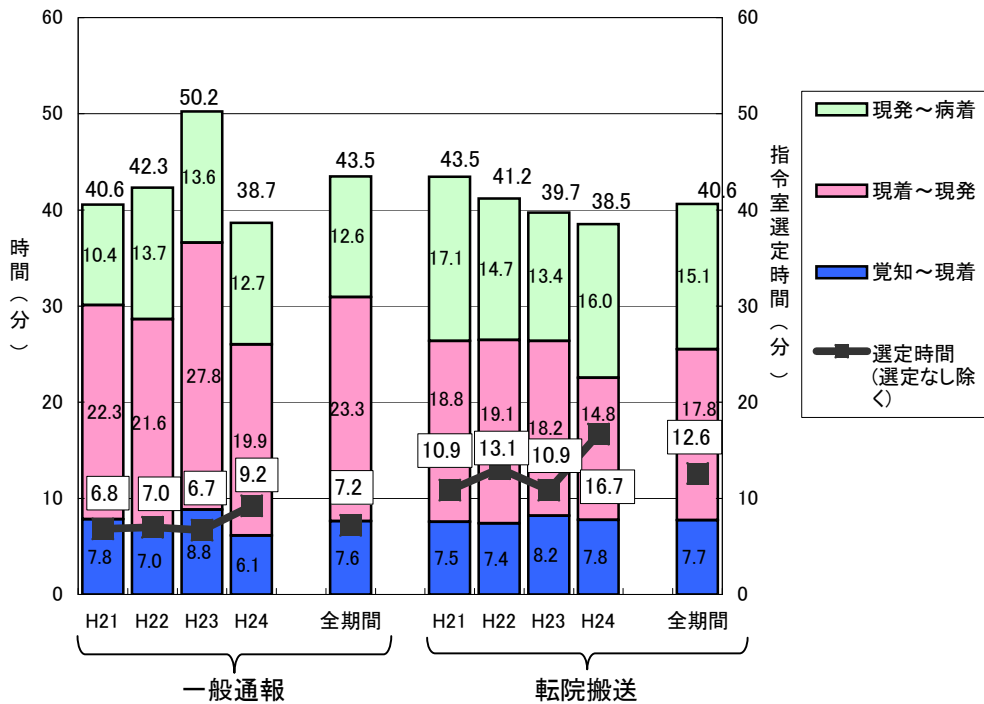


覚知から病着までの時間の多くは50分以内であった。
 ただし、60分を超えるものが22件(10%)あった。
 時間を要した事例は、転院搬送では、処置中であつたり、医療機関同士の連絡に時間を要した事例等であつた。
 一般通報では、救命救急センターから産科への確認に時間を要した事例等であつた。

(分布)



16 搬送（覚知から病着まで）の平均時間と病院選定平均時間



転院搬送は、一般通報に比べ、現場に到着してから現場を出発するまでの時間が短い傾向にある。
 転院搬送では、すでに搬送先病院が決定している場合は指令室での選定時間がないが、選定をしたものについては、病院決定まで平均12分程度となっている。

【参考】東京都の妊産婦死亡率と35歳以上の母からの出生

